



「4月19日に開館したMi e Mu（三重県総合博物館）」 「Mi e Mu」とは全国に公募して決定した愛称で、“三重のミュージアム”とともに“三重の夢”を表現しており、三重の素晴らしさを知ること、未来への夢を持ていただけるような博物館にしていきたいという思いが込められています。（詳細はP10に記載）

目次・主な内容

■ Top News 理事・役員会&特別講演会 2

■ 三重経協News 4

■ 三重労働局News 9

■ 委託事業・三重県News 10

■ 事務局News 新会員の紹介 11

■ 事務局News れんらく・つうしん 12

■ 業務日誌 14

理事・役員会

3月27日（木）津都ホテル5階「伊勢東中の間」において、理事・役員会を開催し、31名の参加者がありました。



挨拶する岡本会長

1. 会長挨拶要旨

3月12日に主要大手の春闘回答が行われました。今年の春闘は例年になく課題の多いもので、デフレ脱却の国民的、国家的な課題でありました。今回は誰かが背中を押す必要があり、その役目を政府が担ったのであります。その後は労使の自主交渉にゆだねるべきであり、①余裕のあるところはベースアップを、②そこまで無理ならば一時金か手当の増額を、③そして勇気を持ってベアを見送ることもありえる、ということを行い続けて参りました。主要大手は軒並み数年振りのベアを回答し、賞与も満額回答の企業が多く見られました。

このような状況の下、私ども経営者協会と致しましては、昨年6月の総会でご承認を頂きました各種の事業を着実に推進しつつあるところであります。

主なものを4点申し上げますと、まず3年前に始めました「女性懇話会」では、メンバーが29名に増え、活動がますます盛んになっております。この会は、企業の経営者に加え、管理職や一般職の方、県や市の職員、さらには弁護士さんなど、多彩な分野の様々な階層の女性で構成されており、県内では大変珍しい取り組みとなっております。当協会と致しましては、アベノミクスの成長戦略に取り上げられている「女性の活躍推進」のため、活動をより一層充実していきたいと考えております。

次に、社会的要請となっている「障がい者雇用」では、三重労働局・三重県・連合三重と協同で推進しております。知事主催の「雇用創造懇話会」において、県民の目に見える形で障がい者の成長を図る「ステップアップカフェ」の開設が、県総合文化センター内の「フレンテ三重」で具体化して参りました。

た。その早期実現に向け、積極的に協力して参りたいと考えております。

3点目と致しましては、今年度からスタート致しました三重テレビ協賛番組『リーダーの羅針盤』は、昨年9月の放送開始以来、これまで8社にご協賛頂き、会社の様々なPRにご活用頂いております。視聴者からも大変好評であり、来年度も引き続き放映する予定であります。

4点目は「研修・教育セミナーの充実」ですが、今年度は「中間管理職講座」を新規にスタートさせ、参加者から好評を頂いており、来年度も引き続き開講する予定であります。さらに来年度からは新たに2講座を開始する予定で、1つは「新入社員フォロー研修」として新人の定着率向上を狙い、もう1つは、「弁護士による専門講座」を開設し、法務知識・判例・コンプライアンス等の講座を予定しておりますので、是非ともご利用頂きたいと思っております。

以上、今年度の活動の概略と来年度の取り組みをご紹介させて頂きましたが、当協会の基盤強化のためには、会員の増強が最重要の課題となっております。昨年に引き続き、理事の皆様方には、新規会員のご推薦やご紹介を賜りますよう、お願い申し上げます。

今後とも皆様方の心強いご支援、ご協力を何卒お願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



理事会風景

2. 協議事項

- (1)平成25年度事業報告（案）について
- (2)平成26年度事業計画及び予算（案）について
- (3)役員人事の件

副会長増員の件

三重いすゞ自動車株式会社 代表取締役社長
川村 則之氏

左記3件の協議事項については、満場一致で承認を得ましたので、会長・副会長会議に諮り、6月の定時会員総会に提案をさせて頂くことになりました。

3. その他・連絡事項

- ①三重テレビ協賛番組「三重経協 PRESENTS 『リーダーの羅針盤』」平成26年度募集
- ②定時会員総会日時 平成26年6月9日(月)
プラザ洞津2階「高砂の間」14:00より
- ③次回理事会は、9月末～10月上旬現在調整中
- ④中部電力株式会社三重支店
執行役員三重支店長 片岡 明典 氏
「電気料金の値上げについてのお断り」のお話がありました。

特別講演会

3月度理事・役員会終了後に特別講演会が開催されました。講演の主な内容は下記の通りです。

◆プログラム

演題

「中小企業の女性経営者に関する実態と課題」
～ジェンダーギャップの所在について～

講師：日本政策金融公庫 総合研究所

中小企業研究第二グループ

グループリーダー 川澄 文子 氏



講演する川澄氏

※2013年6月に日本政策金融公庫総合研究所が取り纏めた、日本公庫総研レポート「中小企業の女性経営者に関する実態と課題」～ジェンダーギャップの所在について～より要約し、ご講演頂きました。また、このレポートは講師の川澄氏が中心となり取り纏めをされました。



講演会風景

内 容

- ①中小企業経営者のなかの「女性」の位置づけ
- ②アンケート概要
- ③インタビュー概要
- ④女性経営者に共通する課題とその克服方法
- ⑤調査結果からみた「ジェンダーギャップ」

※主な内容の抜粋

- ①会社を承継する女性経営者は創業者との血縁関係にある場合が多い
- ②女性経営者は、経営者になる準備をせずに就任する割合が高い
- ③時間の使い方は、労働時間は男性が長い、トータルの活動時間は女性の方が長い
- ④経営者になった際の苦労は、「ノウハウ・専門知識・経営知識の獲得」と「家事・育児・介護との両立」
- ⑤女性経営者に共通する課題とその克服方法は金融機関の理解
 - (1)「こまめな情報交換」と「客観的数値での説明」
 - (2)「金融機関の指導助言も積極活用」
- ⑥女性経営者に共通する課題とその克服方法は家事・育児・介護との両立
 - (1)「権限委譲」・「役割分担」
 - (2)「家族の支え」や「気持ちの切り替え」
- ⑦忙しさを克服する方法は、「気持ちの切り替え」と「環境整備」
- ⑧調査結果からみた男女の差異
 - (1)調和を重視し、相談して重要事項を決定する
 - (2)事業拡大意欲は男性経営者だけのものではない

※また、レポートの中で、中小企業の女性経営者のインタビュー調査も実施し、きめ細かく特徴を分析され、事例も含めてご報告頂きました。

三重経協活動報告

第9回女性懇話会開催

3月13日（木）に津都ホテルにて第9回女性懇話会を20名の参加者で開催致しました。冒頭、伊藤代表の挨拶の後、高田短期大学教授 杉浦 礼子 氏による講演、その後、今回初めての取り組みとして、4グループに分かれてグループディスカッションを行いました。座長は杉浦講師にお願いし、各グループ代表、発表者を決めて行いました。初めてではありましたが、皆さん講演内容に基づき活発な討論が繰り広げられておりました。また、翌日がホワイトデーであり、ケーキを食べながら有意義な交流が図られました。内容については次の通りです。

①講演「女性の活躍とワーク・ライフ・インテグレーションについて」

講師：高田短期大学 キャリア育成学科 教授 杉浦 礼子 氏

②グループディスカッション



挨拶する伊藤代表



講演する杉浦氏



グループディスカッション発表風景



グループディスカッション風景

中部経協三県連携事業

中間管理職講座第4回「グローバルリスクマネジメント&グローバル人材育成講座」開催 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～

2月18日（火）プラザ洞津「紅葉の間」において、中間管理職講座第4回「グローバルリスクマネジメント&グローバル人材育成講座」を開催致しました。

（株）グローバルダイナミクス 代表取締役社長の山中 俊之 氏を講師に12名の参加者で行われました。参加者の中には、当初、うちの会社にはグローバルはあまり関係なく、あまり意識していないとの方も見えましたが、進めていく中で、少しずつ意識が変化して行きました。今回、当協会として初めてグローバルをテーマに行いまし



講義風景



講義する山中講師

たが、今後ますますグローバル人材について講座を行う必要があると感じた内容でありました。また、今回の講座で、全4回が終了となりました。

■主なプログラム

- グローバル展開はここまで進んだ
- 主要国・地域の歴史と文化
- グローバル経済・経営・政治
- 演習「グローバル経済・経営・政治がビジネスに与える影響」

第51回三重労使会議開催

2月13日（木）津都ホテル「伊勢西の間」にて、第51回三重労使会議が経営者側11名、労働者側14名の出席者で開催されました。

経協岡本会長、連合三重土森会長両会長より、2014年春季生活闘争への取り組み、最近の経済状況並びに労使交渉等についての挨拶があり、その後、連合三重土森会長から経協岡本会長に対し「2014年春季生活闘争に関する要請書」が提出されました。次に2014年春季労使交渉について経営側の取り組み・連合三重の取り組みについてそれぞれ事務局より説明があり、続いて労使協働事業報告が行われました。今回の会議は、通常とは異なり何かと話題・課題の多い春季労使交渉前に行われたため、一部マスコミの取材も入るという中で開催されました。労使協働事業報告の中で、昨年9月に開催した三重労使会議が第50回の記念の節目であり、それに伴う記念事業（防災セミナー・県外視察会）についても報告がありました。その後、「平成26年度労働行政について」三重労働局長の畑中 啓良氏より、（日本産業再興プラン雇用制度改革・人材力の強化）に基づき、①行き過ぎた雇用維持型から労働移動支援型への政策転換②民間人材ビジネスの活用によるマッチング機能の強化③多様な働き方の実現④女性の活躍促進等ご説明頂きました。その後、昼食をとりながら終始和やかな労使の意見交換と、今後の春季労使交渉に向けて、双方の理解を深める有意義な会議となりました。



講演する畑中局長

■労使協働事業報告

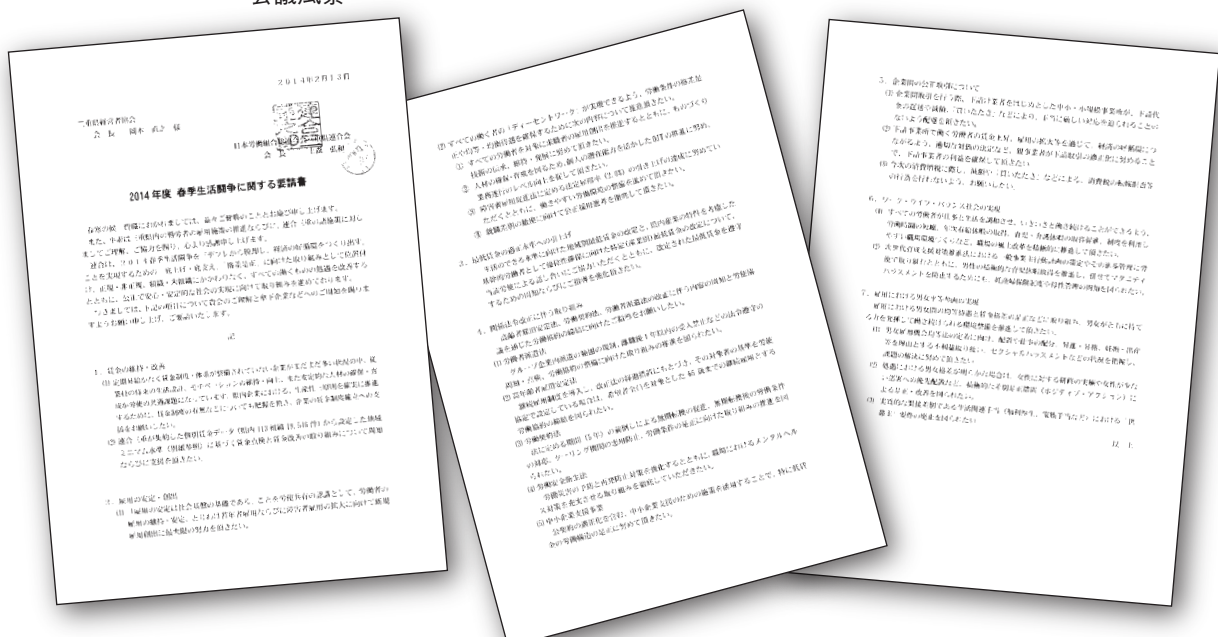
- ①三重労使会議第50回記念事業報告
- ②三重労使雇用支援機構活動報告
- ③婚活事業「素敵な出会いの会」「ハピマリ」活動



会議風景



岡本会長に要請書を提出する連合三重土森会長



第9回「三重県『産・学』就職情報交流会」開催

「求める人物像の明確化」～企業にとって本当に採用したい人物は～



会場風景

2月4日（火）～5日（水）の両日、三重地区学生就職連絡協議会、三重県高等学校進路指導協議会共催、三重県、三重労働局、三重労使雇用支援機構の後援をいただき、鳥羽シーサイドホテルにおいて、第9回「三重県『産・学』就職情報交流会」が開催されました。今回は、「求める人物像の明確化」～企業にとって本当に採用したい人物は～を総合テーマとして掲げました。行政、企業の人事・採用担当者と、高等専門学校を含めた高等教育機関及び高等学校の就職担当者が、一堂に会する『産・学』就職情報交流会は、特別講演、産学による就職事情に関する発表、名刺交換会、2日目に産学によるグループディスカッションを開催し、互いの信頼関係の強化に繋がりました。1日目は132名、2日目は52名と非常に多くの参加者が集い、就職、採用について有意義な意見交換を行いました。

【開催内容】

1日目 第1部 産学就職情報会議

1. 開会挨拶 三重県経営者協会 会長 岡本 直之

2. 基調講演

テーマ：『求める人物像の明確化』

～企業にとって本当に採用したい人物は～

講師：(株)アドプランナー コンサルタント事業部

採用コンサルタント／キャリアカウンセラー 平野 真理子 氏



挨拶する岡本会長



講演する平野氏（(株)アドプランナー）

- ①なぜ、「求める人物像を明確にする」必要があるのか？
- ②「求める人物像」の考え方
- ③明確にするために、企業・学校ができること

3. 産学による発表会及び質疑応答

・産学による発表会

〈企業側〉「今後の採用見通しと、今、企業に求められる人材とは」

住友電装(株) 人材開発部長 下田 典史 氏

講演内容

- ①会社の概要／ワイヤーハーネスビジネス
- ②事業戦略
- ③採用状況と課題
- ④求める人材像
- ⑤新入社員教育



下田人材開発部長（住友電装(株)）

〈学校側〉「インターンシップの取り組み及び最近の学生気質」
鈴鹿国際大学 観光学科 教授 学生支援部長 高嶋 重次 氏
講演内容

- ①インターンの由来
- ②インターンシッププログラムへのコメント
- ③学生気質について



高嶋教授（鈴鹿国際大学）



的場教諭（亀山高校）

亀山高等学校 教諭 的場 照祥 氏

講演内容

- ①県立高等学校卒業予定者の就職内定状況について
- ②高等学校における進路状況について
- ③高等学校における就職指導について
- ④インターンシップの実施状況について
- ⑤亀山高等学校におけるインターンシップ等の実践例

4. 閉会挨拶 三重県雇用経済部雇用対策課若者就労支援班 班長 田中 英充 氏

第2部 産学名刺交換会

1. 主催者挨拶

三重地区学生就職連絡協議会会長 鈴鹿国際大学 学長 出雲 敏彦 氏

2. 企業人事採用者と学生就職担当者による名刺交換会



主催者挨拶 出雲学長（鈴鹿国際大学）



名刺交換会風景

2日目 産学グループディスカッション

『求める人物像の明確化』～企業にとって本当に採用したい人物は～（インターンシップの活用）をテーマに3グループに分かれ、グループディスカッションを行いました。冒頭、座長より第1日目の「基調講演」、「企業、大学・高校の発表」の要旨が報告され、参加者より自己紹介並びに昨日の感想を述べました。

その後、フリーに質問、意見交換がなされ、各グループとも熱い討議が行われ、総合テーマである「求める人物像の明確化」～企業にとって本当に採用したい人物は～、並びにインターンシップについて有意義な情報交換の場になりました。

第1グループ 座長：鈴鹿短期大学 生活コミュニケーション学科
教授 田中 雅章 氏

第2グループ 座長：三重大学 学長補佐 中川 正 氏

第3グループ 座長：鈴鹿工業高等専門学校
電気電子工学科教授 川口 雅司 氏



グループディスカッション風景

労管定例会議&2014年春季労使交渉セミナー

『2014 労使交渉に臨む連合（三重）の基本姿勢』

『2014 労使交渉対応の考え方と具体策』

2月25日（火）プラザ洞津3階「紅葉の間」において、労務管理改善協力委員会定例会議並びに、労管実務セミナーとして「2014年春季労使交渉セミナー」を開催致しました。

当日は、定例会議25名、労管実務セミナーには、33名の参加がありました。

横井会長の挨拶に続いて、第1部会・第2部会の発足以降の活動報告を各部長から報告の後、事務局より今後の予定及び連絡・報告事項として、各社人事異動に伴う委員・部員の変更と客員についての報告、また第63回労管コンペ、次回定例総会の説明を行いました。



挨拶する横井労働管会長

定例会議終了後、同会場で「2014年春季労使交渉セミナー」が開催されました。

日本労働組合総連合会三重県連合会（連合三重）会長 土森 弘和 氏より、『2014年労使交渉に臨む連合（三重）の基本姿勢』と題して、講演を伺いました。今春闘の取り組みとして～STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現～をスローガンに4つの骨組み（①賃金・労働条件改善の取り組み②非正規労働者を含めた全ての労働者を対象とした処遇改善の取り組み③法定最低賃金の取り組み④政策制度の実現に向けた取り組み）を中心に具体的な方針を伺いました。

続いて、（一社）日本経済団体連合会労働政策本部 主幹 新田 秀司 氏より『2014年労使交渉対応の考え方と具体策』をテーマに、2014年版「経営労働政策委員会報告」～デフレからの脱却と持続可能な成長の実現に向けて～を基に、①わが国企業を取り巻く経営環境と経済成長に向けた課題②多様な人材の活用③2014年春季労使交渉・協議に対する経営側の基本姿勢を述べられました。また、同報告書に対する「連合の主張」にも触れられました。今回のセミナーは例年になく何かと話題の多い中での開催で、例年以上に参加者の方々が真剣な眼差しで聞き入っているセミナーでありました。



講演する新田氏



労管定例会議風景



講演する土森会長

労働移動支援助成金について

再就職支援奨励金

事業規模の縮小等に伴い離職を余儀なくされる労働者等に対して、以下の支援を行った事業主に対して助成します。

【再就職支援】

離職する労働者の再就職支援を民間の職業紹介事業者に委託した場合

※再就職支援委託時と再就職実現時に支給

※再就職支援の一部として訓練・グループワークを実施した場合、助成額を上乗せ（再就職実現時のみ）

【休暇付与支援】※再就職実現時のみ支給

離職が決定している労働者に対して求職活動のための休暇を与えた場合

●支給額

①再就職支援委託時 支給対象者1人あたり10万円

②再就職実現時

◎離職から6ヶ月以内【45歳以上は9ヶ月以内】の再就職実現時に支給

ア 再就職支援 ※【 】内は45歳以上対象者

(中小企業事業主) 委託費用(下記イ・ウ除外)の3分の2【5分の4】

(中小企業事業主以外)委託費用(下記イ・ウ除外)の2分の1【3分の2】

※委託総額または60万円のうち低い額が上限

イ 訓練加算⇒月6万円(上限3ヶ月分)を加算

ウ グループワーク加算⇒3回以上で1万円加算

エ 休暇付与 ※90日分が上限

(中小企業事業主) 支給対象者1人あたり7,000円/日

(中小企業事業主以外)支給対象者1人あたり4,000円/日

受入れ人材育成支援奨励金の創設

①再就職援助計画対象労働者等の雇入れ、②移籍による受入れ、③在籍出向者を移籍に切り換え、のいずれかを行い、その労働者に訓練を行った事業主に対して助成します。

●支給対象者1人あたりの支給額

①Off-JT 賃金助成 1時間あたり800円

②訓練経費助成 実費相当額(上限30万円)

③OJT 訓練実施助成 1時間あたり700円

制度の詳細は、三重労働局職業安定部職業対策課助成金係（☎059-226-2306）もしくは最寄りのハローワークへお尋ねください。

三重労働局委託事業

「専門家派遣・相談等支援事業」 をご利用ください！

対応内容

給与制度・給与体系を見直したいのですが…

販路拡大の方法について知りたいのですが…

業務改善助成金の適用申請をしたいのですが…

もう少し生産効率を上げたいのですが…

就業規則をしっかりとしたものにしたいのですが…

その他
経営・労務に関すること…

無料

相談窓口はこちら

三重県最低賃金総合相談支援センター

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F 三重県経営者協会内

TEL.059-226-0033 <http://miekeikyo.jp/>

開設日は、原則、土・日・祝祭日を除く平日とします。なお、出張相談を四日市、伊勢において月5日、尾鷲において月4日開設しています。詳しくは、三重県経営者協会のホームページをご確認下さい。

三重県

みえむ

4月19日に開館したMieMu(三重県総合博物館)



今年4月19日(土)、MieMu／みえむ(三重県総合博物館)が、津駅西口からバスで約5分、三重県総合文化センターの向かい側に開館します。

さて館内ですが、まず、メインエントランスがある2階から展示室がある3階に上がると、日本初となるミエゾウの全身復元骨格が、来館された皆さんをお出迎えします。ちなみに、「ミエゾウ」とは、初めて化石が発掘されたのが三重県内であったため、学名に三重の名(ステゴドン ミエンス)がついている古代のゾウで、国内で発見された陸上ほ乳類として史上最大(全長約7.6メートル、高さ約3.6メートル)の生きものです。

展示については、

- 日本の縮図とも言える三重の多様な豊かな自然と歴史・文化を、臨場感豊かな映像やジオラマなども駆使してダイナミックに表現した基本展示
- 国宝級の貴重な資料を展示する大規模な企画展や、企業や他の博物館などの協働で行う交流展、さらには、これまで博物館に興味なかった方も行ってみたいと思えるような面白いテーマなど、バリエーションに富んだ内容で実施する企画展示を展開していきます。

このほかにも、

- 子どもたちが“遊ぶ”“楽しむ”ことを通じて、三重の素晴らしさや博物館の楽しさを知ってもらえる「こども体験展示室」
- 昆虫や植物、動物、伝統工芸品など三重の自然と歴史・文化に関する資料を図鑑のように展示し、触れる展示などもある「三重の実物図鑑」
- 来館された方が気軽に参加できるワークショップを展開する「ワークショップコーナー」
- 学芸員が常駐して、利用者の皆さんから資料相談を受けたり資料閲覧のご案内をする「レファレンスカウンター」
- 屋外にあって様々なイベントも実施する「ミュージアムフィールド」

などがあり、一人ひとりの興味・関心に応じた利用方法をご用意していますので、たくさんの方の来館をお待ちしております。

(ご利用情報)

■開館日、開館時間

休 館：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

開館時間：9時～19時(展示エリアは平日～17時)

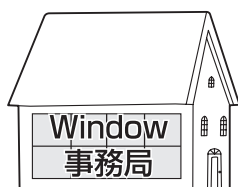
■料

金

入館無料

観覧料：(基本展示) 一般510円、学生300円、高校生以下無料
(企画展示) その都度観覧料を設定します

※団体券、前売券、セット券(基本展示と企画展示の両方を観覧可能)、年間パスポート券などをご用意しています。



新会員の紹介

ミフジ株式会社

事業内容 紙卸商

代表者 代表取締役社長 三藤 治喜

所在地 津市東丸ノ内5-8

電話 059-226-2662

FAX 059-226-2660

ホームページ <http://www.kami-mifuji.com/>



株式会社シグマテック三重事業所

事業内容 総合人材ビジネス業

代表者 代表取締役専務 梶野 秀彦

所在地 津市東丸ノ内33-1

津フェニックスビル 4階

電話 059-229-0355

FAX 059-229-1561

ホームページ <http://www.sigma-tec.co.jp/>



株式会社辻工務店

事業内容 建築事業

代表者 代表取締役 辻 正敏

所在地 津市大門28-13

電話 059-226-2261

FAX 059-225-8880

ホームページ <http://www.tsujikoumuten.co.jp/>



新規会員のご紹介を お願いします

三重県経営者協会は（一社）日本経済団体連合会の地方組織として、県内企業の発展と地域社会に貢献し、グローバルな時代に対応した会員へのサービスの向上を行っております。



今年度も当協会の一層の発展のために、組織の拡大を目指しておりますので、ご入会いただける企業等のご紹介を会員皆様をお願い致します。

ご一報いただきましたら速やかに訪問し、ご説明をさせていただきます。

担当：会員サービス担当 中村 和仁
電話 (059-228-3557・3679)
E-mail info@miekeikyo.jp

れんらく・つうしん

平成26年度定時会員総会及び特別講演会

日 時 平成26年6月9日(月) 14:00～16:30
場 所 プラザ洞津 2階 高砂の間
津市新町1-6-28(津新町駅下車西へ徒歩3分)
Tel 059-227-3291
特別講演 時事通信社 特別解説委員 加藤 清隆 氏
(共催)21世紀のエネルギーを考える会・みえ

社会保険実務講座

日 時 平成26年6月26日(木) 13:00～17:00
場 所 プラザ洞津 2階 明日香の間
津市新町1-6-28(津新町駅下車西へ徒歩3分)
Tel 059-227-3291
受講料 会員会社 1名につき 10,000円
非会員会社 // 18,000円
講 師 社会保険労務士法人ナデック 代表社員 小岩 広宣 氏
特定社会保険労務士 経営法曹会議賛助会員

三重テレビ特別協賛番組 平成26年度募集 三重県経営者協会PRESENTS「リーダーの羅針盤」

放送番組名 三重県経営者協会PRESENTS「リーダーの羅針盤」
(スタジオ生放送・1回の放送につき1社紹介)
放送日時 (本放送・第1ch)毎月第2水曜12:00～12:30
(再放送・第2ch)毎月第2水曜17:00～17:30・第2木曜7:00～7:30(予定)
*特別番組の編成等により放送日程が変更となる場合がございます。
番組内容 貴社の企業取り組みやサービス紹介、地域連携、国際交流、新規事業など最先端の情報を、毎回各社の社長にお越し頂き、タイムリーに情報発信する番組です。
取 材 番組内VTR制作のため、事前に貴社にお邪魔して1日取材を行います。

ご協賛金額¥380,000(税別)
放送回数 本放送1回 再放送2回(予定)

※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。



新入社員フォロー研修開講

(新入社員フォロー会員募集)

入社後3か月、半年、10か月といった、「社会人生活に慣れる時期」・「仕事を覚え始める時期」・「いよいよ先輩になる時期」に抱えている「悩み」や、感じている「やりがい」を他社の新入社員と交流することで解消・強化します。

同時に、社外の同期ネットワークを作る機会と相互刺激の機会とします。

〈目的・ねらい〉

1. 「新入社員の定着・育成を異業種他社の同期社員との交流・グループワークを通して効果的に実現する」
2. 「異業種他社の同期社員とのコミュニケーションにより、相互刺激・相互啓発効果が発揮され定着率が上がる」
3. 「定期的な実施により新入社員自身の成長・変化が明らかになる」

開催場所：津市内(年3回開催)

開催月：7月、10月、3月

講師：(株)ソ・ラボ 代表取締役 山田 将史 氏

受講料：新入社員フォロー会員会費／年間40,000円(1名分)

1回毎の参加会費は1名につき 15,000円



新任管理職・中間管理職講座開講

(教育会員募集)

率先して「明日の自社」を切り拓いていける人財の育成が求められています。

本セミナーでは、演習やグループディスカッションを中心に、次世代の企業経営を担う新任管理職・中間管理職の方に必要なスキルを身に付けて頂きます。



開催場所：津市内(年4回開催)

開催月：7月 管理職マネジメント基礎講座

9月 部下育成講座

11月 ビジネスゲーム 会社の仕組みを理解する講座

12月 ロジカルシンキング(論理思考)の基本

「考える」ための基礎知識講座

講師：第1回・第2回 (株)ヒューマンブレイン 取締役企画部長 稲垣 正己 氏

第3回・第4回 (株)プロカレント 代表取締役 下田 浩貴 氏

受講料：教育会員会費：年間36,000円(1名分)

1回毎の参加会費は1名につき 12,000円

※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。

ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材 送出 企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業

産業雇用 安定センター 三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業どうしの話し合い・面接

出向・移籍の成立

無料

人材 受入 企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌 (2014.1.1~3)

事業名	とき	ところ
第9回 「三重県『産・学』就職情報交流会」	2 / 4 (火) ・ 2 / 5 (水)	鳥羽シーサイドホテル
第51三重労使会議	2 / 13 (木)	津都ホテル
日本経済団体連合会地方団体連絡会・幹事会	2 / 18 (火)	日本経団連会館
中部三県連携事業 中間管理職講座 第4回 「グローバルリスクマネジメント&グローバル人材育成講座」	2 / 18 (火)	プラザ洞津
労務管理改善協力委員会定例会&2014年春季労使交渉セミナー	2 / 25 (火)	プラザ洞津
日本経済団体連合会団体長会	3 / 11 (火)	日本経団連会館
第9回 女性懇話会	3 / 13 (木)	津都ホテル
理事・役員会&特別講演会	3 / 27 (木)	津都ホテル



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

平成26年4月25日 発行
発行人／三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F